

向こう1か月の天候の見通し

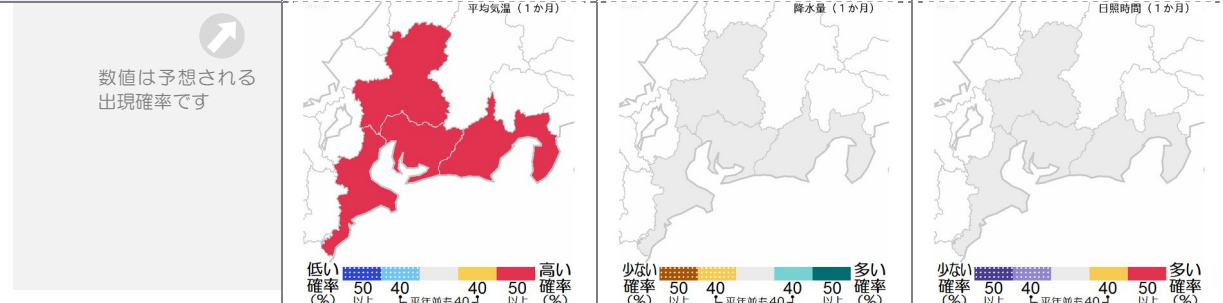
東海地方（11月17日～12月16日）

名古屋地方気象台

予報のポイント

- 高気圧に覆われる日や冬型の気圧配置となる日が多いですが、期間のはじめは気圧の谷の影響を受けやすい見込みです。
- 期間の前半を中心に暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は高いでしょう。
- 岐阜県山間部の降雪量は平年並か少ない見込みです。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
東海地方	低 10 並 30 高 60% 高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
 <p>数値は予想される出現確率です</p>	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
	低い確率（%） 50 40 以上 平年並も40% 高い確率（%）	少ない確率（%） 50 40 以上 平年並も40% 多い確率（%）	少ない確率（%） 50 40 以上 平年並も40% 多い確率（%）

週別の天候

（1週目） 11/17～23	（2週目） 11/24～30	（3～4週目） 12/1～14
低気圧や気圧の谷の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多い見込みです。	移動性高気圧や大陸から張り出す高気圧に覆われやすく、平野部では平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 岐阜県山間部では平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ない見込みです。	冬型の気圧配置となる日や高気圧に覆われる日が多い見込みです。平年と同様に、平野部では晴れの日が多く、岐阜県山間部では曇りや雪または雨の日が多い見込みです。

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報（<https://www.jma.go.jp/jp/week/>）を参照してください。

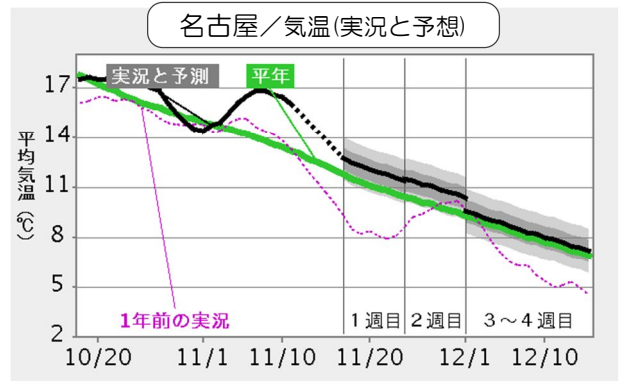
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 11/17~23	平均気温（2 週目） 11/24~30	平均気温（3~4 週目） 12/1~14
東海地方	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み
数値は予想される 出現確率です	平均気温（1 週目） 	平均気温（2 週目） 	平均気温（3~4 週目）
	低い確率 (%) 50 40 以上 7 平年並も 40 以上 (%) 高い確率 (%)	低い確率 (%) 50 40 以上 7 平年並も 40 以上 (%) 高い確率 (%)	低い確率 (%) 50 40 以上 7 平年並も 40 以上 (%) 高い確率 (%)
	低い確率 (%) 50 40 以上 7 平年並も 40 以上 (%) 高い確率 (%)	低い確率 (%) 50 40 以上 7 平年並も 40 以上 (%) 高い確率 (%)	低い確率 (%) 50 40 以上 7 平年並も 40 以上 (%) 高い確率 (%)

ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
気象庁ホームページ
<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>
で公開しています。

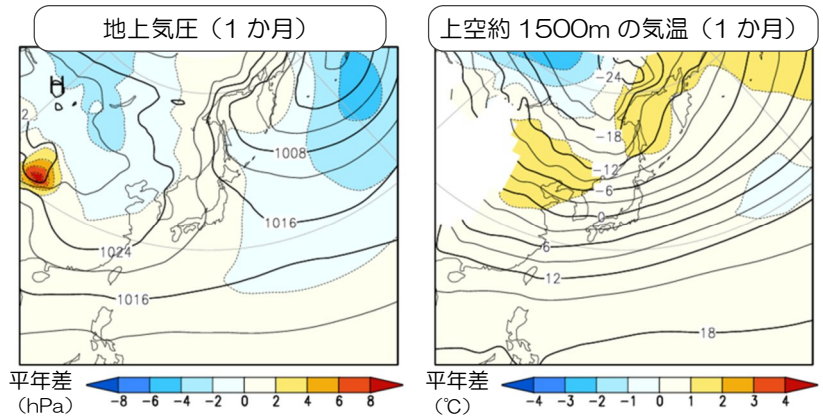
予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。



数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、日本付近はおおむね平年よりやや高い予測です。

上空約 1500m の気温（右図）は、日本付近は広く平年より高い予測となっています。

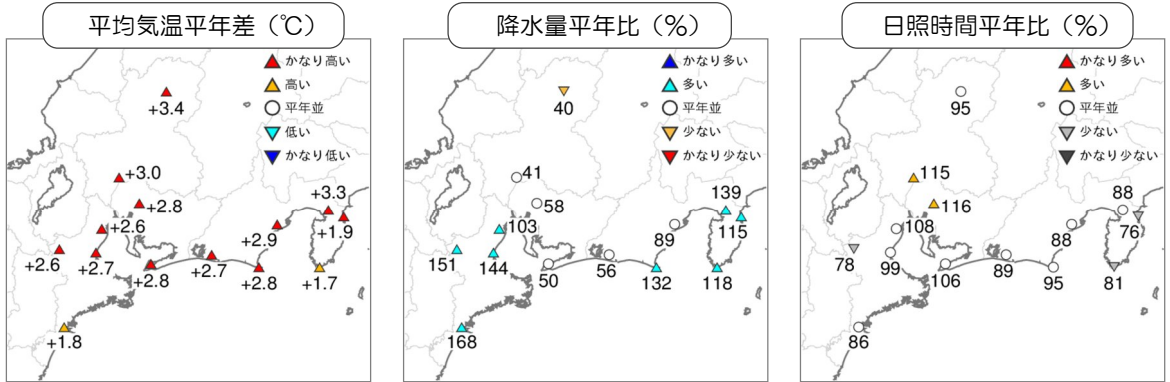


季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況）

11/8~14

天気は数日の周期で変わりました。9 日は沿海州の低気圧からのびた寒冷前線が通過して雨が降り、三重県では大雨となった所がありました。また 12 日から 13 日にかけては日本付近を低気圧が通過して曇りや雨となりました。南からの暖かい空気に覆われて、この 1 週間の気温はかなり高くなりました。



(実況) 11/8~14	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
東海地方	+2.6℃ (かなり高い)	100% (平年並)	94% (平年並)

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
東海地方	平年差: -0.3~+0.6℃	平年比: 60~117%	平年比: 96~107%
名古屋	9.1~9.9℃	33.3~63.5mm	144.5~161.2 時間

	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
東海地方	平年差: -0.7~+0.6℃	平年差: -0.6~+0.7℃	平年差: -0.4~+0.6℃
名古屋	10.5~12.0℃	9.3~10.7℃	7.7~8.8℃

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間 (1981-2010 年) の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い (多い)」「平年並」「低い (少ない)」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い (多い) 方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い (多い)」などは、高い (多い) 方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
名古屋	18.9 日	5.4 日	4.7 日	1.4 日	4.8 日	1.4 日	9.5 日	2.7 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1 mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説 (ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています)

出現確率 (低い (少ない): 平年並: 高い (多い))	解 説
高い (多い) 確率が 50% 以上	高い (多い) 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並が高い (多い) 見込み
平年並の確率が 50% 以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が 50% 以上	低い (少ない) 見込み